

国際ロータリー第2660地区
ガバナー

横山 守雄



各クラブのロータリー財団委員長が、財団の活動について、クラブで委員会報告をされる際に、先ず「本年度財団への年次寄付金はお一人 \$ 130以上でお願いします」という点から入って行かれる方が多いですが、財団は会員の皆様から寄付金を募ることを第一義的に考えているわけではありません。

財団は各クラブや会員の皆様に多様な活動プログラムを提供してくれます。そのプログラムには、各クラブの社会奉仕、国際奉仕プロジェクトに対する各種の補助金があります。国際親善奨学生、世界平和フェロー奨学生、GSEチームの派遣や受入れなどの教育的プログラムもあります。これらの各種の財団プログラムを各クラブが有効に活用することによってクラブ活動が大いに活性化します。本年度は特にポリオ撲滅という、クラブや会員個人では取り組めないような世界的規模の人道プロジェクトが財団の重点活動項目になりました。ポリオがこの地球上から撲滅された暁には、幾多の子供たちの尊い命が救われ、私達ロータリアンの喜びは大変なものになることでしょう。

財団はロータリアンから、単に寄付金を集めるための機関ではなく、各クラブ

とロータリアンのために存在する組織です。ですから「あなたの財団」「私たちの財団」と呼ばれているのです。

世界には無数のNGO奉仕団体がありますが、ロータリーから財団の活動プログラムがなくなりますと、ロータリーは一介の本当に魅力のない奉仕団体となるのではないのでしょうか。

また各クラブの活動も活力のないものになって行くことでしょう。各クラブの皆様は財団の多彩な活動プログラムをクラブ活性化のツールとして大いに活用いただきたいと思います。

RIは11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」として、ロータリアンとインターアクターが一体となって国際的な活動に参加するように呼び掛けております。IACに参加できる対象者は高校生年代の若人になりますが、“Interact”の名称は“International Action”からとられたものです。この年代で国際理解と親善、そして他国の文化や人々のことを学び、そしてまた地域社会の奉仕活動に参加することは、彼らの将来の人間形成上からも大変意義のある活動といえます。当地区のIAC活動がもっと盛んになりますよう、地区としても、また各クラブでも前向きに取り組んで行きたいものです。